

まえがき



2016年7月 ニュージーランドにて

私は今、ニュージーランドにいて、友達の家から見える景色を、ぼーっと眺めながらこの原稿を書いている。聞こえてくるのは、いろんな鳥の声。BGMはいらない。行き交う鳥を見ていると、まったく飽きることがない。

本を出すということに、こうして書いている私が一番驚いている。

自分が表現したものが形となって残る。そのことは、私にとって自分という存在を残しておく作業でもあり、また書いている途中で生まれてくるものを一つ残らず記録しておくというとても贅沢なことでもあり、ありがたく思う。

私はセラピストとしての活動を始めてから5年くらいになる。といっても、そんなに忙しいわけではなく、趣味の延長くらいの働き方である。私としては、もっとしつかりと収入を得たい！ と思っているのだが、なかなかうまくいっていなかった。そんな時、流行りの“起業女子”という波に乗り、「よぉ〜し！ 私もやるぞ！」といきなりスイッチが入った。2016年は、その流れで自分のビジネスを確立するためにコンサルティングを受けるなど、頑張った年だった。今までと違う流れに乗ったことで、自分とたくさん向き合うこととなった。そんな中、今回のニューヨーク半年間の旅を決め、新たなチャレンジを始め、今に至っている。

この本の話もそんな時にやってきた。もともと自分が撮った写真と、そこから感じるメッセージを本にしたいと思っていた私。執筆期間も丁度行っている間に書ける！ タイミンがよくすべてが重なり、今回本を書くこととなった。この本は、なぜ半年間もニューヨークを旅しようと思ったのか、その経緯や、それまで私がどのように生きてきたか、何を感じ何を思っていたか、など私の人生の旅の記録である。また、書くことで自分自身を整理し、新しい何かが見えてくるといいなと思っている。旅先で感じたことを入れること

で、読んでくださるあなたにとっても、一緒に旅をしているような感覚になったり、自分のことに置き換えて受け取っていただけたらいいなと思う。

人生は何が起きるかわからない。だからこそ楽しいし、迷いや不安、失敗や挫折も人間だからたくさんあるが、人間でなければ味わえないこれらの感覚を存分に味わいながら死にたいなと思う。いきなり死ぬ話で申し訳ないが（笑）この本を通して、私の旅と一緒に楽しんでいただけたらと思う。そして読み終わった後に、あなたの中のまだ見ぬ情熱や夢が少しずつ目覚めていってくれるといいなと思う。そのためには、この本をハートで感じながら読んでいってもらえればと思う。あなたの中でのいろんな感情や想いが出てくるかもしれない。頭の中の会話では、あなただからできるのよね……とか、私には無理だと、言ってくるかもしれない。それもしつかりと感じ、いい悪いという判断は脇に置いておいてほしい。

では旅を始めよう！ 一緒についてきてくださいね！